【令和６年度 全国学力・学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析・評価シート

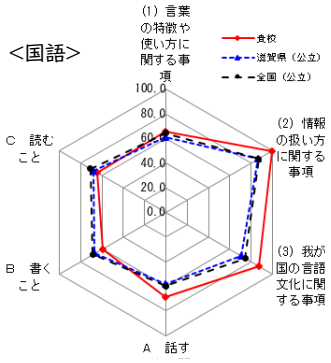
大津市立比叡平小学校

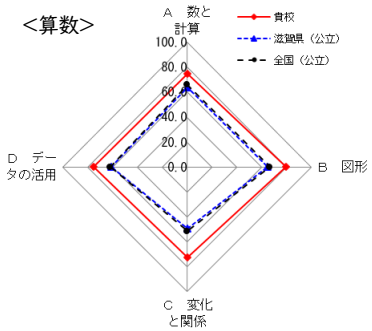
○調査目的	◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握･分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。 ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について（概要）】

＜教科（領域）ごとの調査結果から>

国語は６つの学習領域のうち４領域、算数は４つの学習領域のうち全領域で全国平均を上回った。





全国平均正答率より上回った領域

国語：「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」
「我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと」

算数：「数の計算」「図形」「変化と関係」
「データの活用」

全国平均正答率より下回った領域

国語：「書くこと」「読むこと」

＜児童生徒質問紙調査から＞

【９割以上が肯定的に回答し、全国平均と比較して良い傾向が見られる主な項目】

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」「５年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができるか」「５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」「５年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」

【全国平均と比較して良い傾向が見られる主な項目】

「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」「５年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」

【全国平均と比較して課題が見られる主な項目】

「国語の授業の内容はよく分かりますか。」「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに注目していますか。」

＜強み＞

・質問紙調査から、自己有用感や道徳心が育まれていること、話し合う活動が思考を深めるのに有効であると実感していること、地域とのつながりや地域や社会貢献への意識が高いことなどがわかる。
・国語は、『書くこと』の「文章から言葉や文を取り出し、整理すること」や「必要な情報を見付けること」はできており、正答率は全国平均と比べて高い。
・算数は、『数と計算』の「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているか」や『変化と関係』の「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるか」の問題の正答率は全国平均と比べて高い。

＜弱み＞

・国語は、『書くこと』の「目的や意図に応じて、事実や感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」や『読むこと』の「物語を読んで、心にのこったところとその理由をまとめて書くこと」にも課題が見られた。また、総じて「記述式」の問題形式の正答率がやや低い。

【指導の充実に向けて】

○ここ数年全国平均を上回っている児童の「自己有用感」や「道徳心」を維持するため、現在行っている取組や支援を継続する。
・校内研究『“つながり学び合う”国語科授業の追究』（「協働的な学び」の推進による、個の学力向上と自他を尊重する心の育成）
・特別支援理解教育および包括的性教育を柱とした多様性理解学習推進による、一人ひとりが大切にされる学校風土・学級集団づくり
・児童主体のいじめ防止の取組と生徒指導事案への組織的対応の充実による、いじめを許さない心の育成および安全・安心感の醸成
○国語の『読むこと』の強みを維持するため、週１回、中・高学年が行っている「新聞記事の読解・要約」の取組を継続する。
○国語の『書くこと』と「記述式問題形式」の弱みの改善のため、文章読解における「一人読み」（自分の解釈や考えの書き込み）や、各教科学習後の「ふり返り」（自分の学びの書き込み）など、自分の考えをまとめ、記述することの指導を充実させていく。